

# 第1学年1組 道徳科学習指導案

## 1 主題名 決まりの大切さ 内容項目〔C 規則の尊重〕

2 **ねらい** 学校や家庭でのきまりや規則の大切さを知り、きまりや規則を守ろうとする心情を育てる。  
教材名 「よりみち」(出典:「新編 あたらしいどうとく」東京書籍)

## 3 主題設定の理由

### (1) ねらいや指導内容について

自分や周りの人が安心して気持ちよく過ごすにはきまりや約束を守ることが大切である。しかし、低学年の段階においてはまだ自己中心性が強く、周囲への配慮を欠いて自分勝手な行動をとることも少なくない。自分の欲求と規則の間で葛藤した経験を認め、きまりや約束を破りそうになる弱い自分についても考えさせるとともに約束やきまりはみんなが安心して過ごすためにあるという側面に気づかせ、本授業がねらいとする「規則の尊重」という道徳的価値を深く考える時間とする。

### (2) これまでの学習状況および児童の実態について

本学級の児童は、入学以来5か月が経ち、学校生活にも慣れてきた。友達との関りが増え、活発に学校生活を送るようになってきている。一方、身のまわりのきまりや約束を守ろうとする気持ちはあるが、欲求を抑えられず、自分勝手な行動をとってしまったりする場面も出てきている。また、きまりや約束を守る理由として、「大人に叱られないため」という傾向もある。その都度、個々に、または全体に指導を重ねてきたが、「なぜ守らなくてはいけないのか」という約束やきまりの意義やそのよさを自覚している児童は少ないと感じている。

### (3) 教材の特質や活用方法について

本教材は、主人公が友達からの誘いでよりみちをし、きまりを破ってしまう話である。登下校は児童の生活に深く関わるものであり、よりみちをしてしまう主人公を自分に重ねて考えるのに適した教材である。そこで、自分を探す教師や母親の姿を見て、なぜきまりや約束を守ることが大切なのかについて実感を伴った理解をさせていきたい。また、そのよさについても気づかせ自律的にきまりや約束を守ろうとする心情を育てたい。

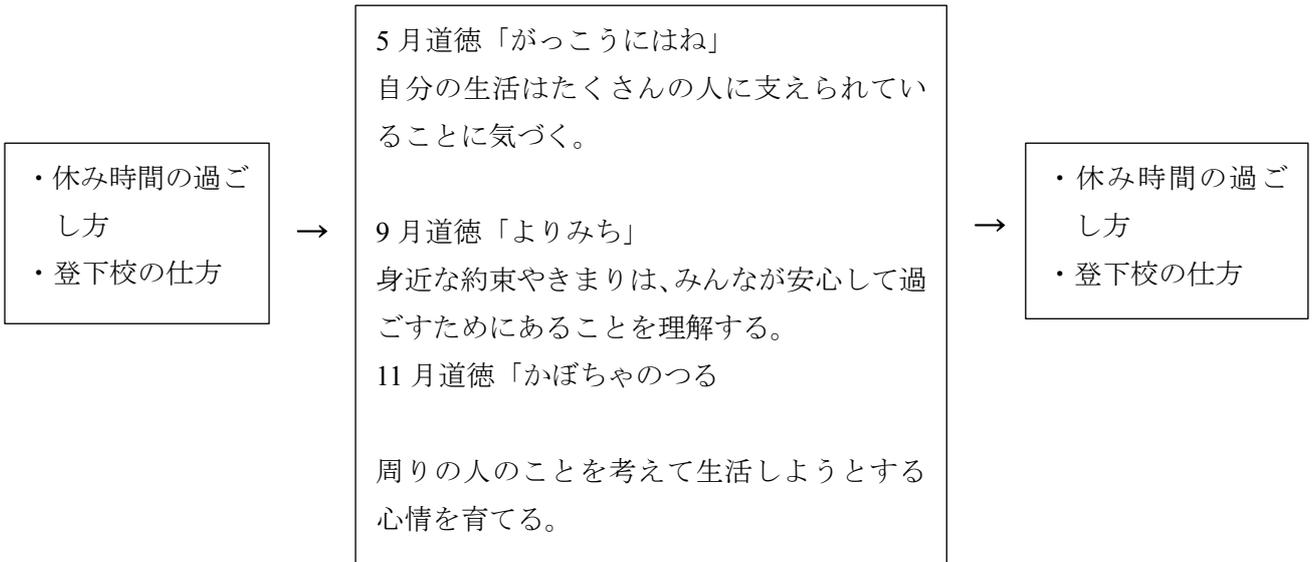
## 4 学習指導過程

	学習活動・発問	予想される児童の反応	・指導上の留意点 ☆評価の視点
導入 4	1 浅羽野小にある決まりや約束について出し合う。 ○浅羽野小にはどんなきまりがありますか。	・廊下を走らない。 ・チャイム着席をする。 ・手を洗う。	・挙手をしてたくさん決まりを出させ、ねらいとする道徳的価値についての問題意識を高める。

展 開 5	2 教材を読み、話し合う。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・範読の前に簡単に内容を話し、内容を理解しやすくする。</li> <li>・よりみちをしないことは学校の約束であることをおさえる。</li> </ul>
7	○「わたし」はどうしてよりみちをしたのですか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子犬が見たかったから。</li> <li>・友達に誘われたから。</li> <li>・いけないと思ったけど、ちょっとだけならと思った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子犬を見たい気持ちから、きまりを守れなかった「わたし」の気持ちに気づかせる。</li> <li>・ペアで話をしてから全体で共有する。</li> </ul>
7	○動けなくなってしまった「わたし」は何を考えていたのでしょうか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お母さんたちに怒られる。</li> <li>・悪いことをしてしまった。</li> <li>・よりみちしなければよかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「わたし」はよりみちをしてはいけないことは分かっていたことを確認する。</li> <li>・守らなくてはいけないとわかっているもできない心の弱さを感じ取らせる。</li> </ul>
10	○お母さんの涙をみた「わたし」はどんな気持ちになったでしょう。 (役割演技)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お母さんたちに心配をかけてしまった。</li> <li>・心配をかけるとは思わなかった。</li> <li>・ごめんなさい。</li> <li>・これからはよりみちしないようにしよう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアで話をしてから全体で共有する。</li> <li>・怒られてしまうかもしれないという、考えをとりあげておく。</li> </ul>
7	3 これまでの自分の生活について振り返る。 ○浅羽野小のきまりについてこれまでの自分をふりかえりましょう。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・わたし役を児童、母親役を教師が行う。(2～3組程度)</li> <li>・演技をした児童に、発言をしたときの気持ちを聞く。</li> <li>・見ていた児童に、演技中の言葉や様子からどんな思いを持ったか聞く。</li> <li>・目に涙をためていた母親の姿から先生や母親の心配の深さを感じ取らせ、うっかりきまりを守らなかったことが、周りの人々に大きな心配や迷惑をかけてしまうことに気づかせる。</li> </ul>
			<ul style="list-style-type: none"> <li>☆約束やきまりは何のためにあるのかについて考えようとしているか。【発言・観察】</li> <li>・きまりや約束を守るとみんなが安心して学校生活を送れることを確認する。</li> <li>・ワークシートに自己評価をし、全体で交流する。</li> </ul>

			☆約束やきまりについてこれまでの自分をふりかえり、自己を見つめている。 【ワークシート・発言】
終末5	4 教師の説話を聞く。		・児童がきまりを守って生活している姿を提示することで、自己肯定感が高まるようにする。

## 5 他の教育活動との関連



## 6 評価の視点

【物事を多面的・多角的に考えている様子】

- ・ 約束やきまりは何のためにあるのかについて考えている。

【ねらいとする道徳的価値について自分との関りで考えている様子】

- ・ 約束やきまりについてこれまでの自分をふりかえり、自己を見つめている。

## 7 板書計画

<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">挿絵②</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ しんぱいかけてしまった。</li> <li>・ ごめんなさい。</li> <li>・ しんぱいをかけるとはおもわなかった。</li> <li>・ これからはよりみちしないようにしよう。</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">おかあさんのなみだをみたわたし</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ よりみちしなければ…</li> <li>・ わるいことをしてしまった。</li> <li>・ おこられる。</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">挿絵①</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ちよつとだけなら…</li> <li>・ ともだちにさそわれたから</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">よりみち</div> <p style="margin-top: 10px;">よりみちをしてしまったわたし</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">やくそく</div>
--	---	---	--